

令和5年度 第1回 津駅周辺道路空間再編検討委員会 議事要旨

1. 日 時 令和5年8月1日（火） 15:00～

2. 場 所 アスト津 4階 アストホール

3. 委 員 別紙のとおり

4. 議 事

- 1) 設置要綱の改正について
- 2) これまでの検討経緯
- 3) 今年度の検討方針
- 4) 津駅周辺の人流データ分析・交通流動調査について
- 5) 津駅周辺道路空間における賑わい創出の取組について
- 6) 津駅西口について
- 7) その他

5. 委員からの意見

1) 設置要綱の改正について

◆質疑応答なし

2) これまでの検討経緯

◆質疑応答なし

3) 今年度の検討方針

◆質疑応答なし

4) 津駅周辺の人流データ分析・交通流動調査について

(主な意見)

- ・人流データ分析の分析期間について、2021年10月はコロナ禍であるため、特異な状況の可能性はあるが、問題がないか確認すること。また、毎年10月の人流データを分析する際は、コロナ禍前から現在にかけて、少なからず人の動きに影響があることに留意されたい。
- ・人流データを活用した分析結果は、顕在化された人の動きに関する結果となるため、本データによる分析結果のみで、将来予測を実施することにはリスクがある点に留意すること。また、人流データは、サンプル数が非常に多く、分析に多くの時間を要することが予想されるため、再度、調査目的を精査するとともに、適切な分析項目を検討すること。
- ・鉄道利用者数について、コロナ禍による影響が生じていることを確認している。再度、コロナ禍による影響の有無を検証し、適切な調査時期を検討すること。また、交通実態調査について、駅西口を対象とした調査の必要性について確認すること。
- ・交通実態調査の内容について、バス待ち行列よりも利用者数を把握することが重要である。調査目的、方法について再度検討すること。また、高齢者等にとって必要不可欠となる、待合室の必要性や配置の検討に必要な検討材料の収集にフォーカスした調査についても検討すること。
- ・タクシーのピーク時間は、バスや鉄道と異なり、朝は7～10時、昼は12～13時、夕方は18～19時、一日の一番のピークは22～24時である。交通実態調査の調査時間については、これらも踏まえ再度検討すること。
- ・交通実態調査について、帰宅時間においては、栄町三丁目バス停での降車客が多くなるた

め、調査箇所への追加を検討すること。また、天候によっても利用者数が変わるため、複数日の調査についても検討すること。

5) 津駅周辺道路空間における賑わい創出の取組について

(主な意見)

- ・栄町公園で実施を予定している社会実験の内容を提示すること。

6) 津駅西口について

◆質疑応答なし

7) その他

(主な意見)

- ・今後、津駅周辺道路空間再編検討委員会だけではなくて、東口・西口についてそれぞれ会議を立ち上げ、検討を実施することのことだが、道路空間再編の具体的な整備イメージの公表・策定に関する方針を提示すること。

以 上

令和5年度 第1回 津駅周辺道路空間再編検討委員会 出席者名簿

令和5年8月1日（火） 15:00～
アスト津 4階 アストホール

区分	所 属	氏 名	出 欠
1 委員長	有識者	三重短期大学生活科学科 教授 小野寺 一成	出席
2 副委員長		近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科 教授 中平 恭之	出席
3	交通 関係者	三重県トラック協会 専務理事 川方 尚	出席
4		三重県バス協会 専務理事 青木 周二	出席
5		三重県タクシー協会 津支部長 村田 友和	出席
6		東海旅客鉄道株式会社 担当課長 平井 崇士	欠席
7		近畿日本鉄道株式会社 課長 中村 大輔	代理出席 課長補佐 松原 拓也
8		三重交通株式会社 部長 増田 浩士	出席
9		委員 経済 関係者	津商工会議所 女性会 会長 松田 弘子
10	津市観光協会 専務理事 武川 明広		出席
11	津駅前通り商店街振興組合 代表 小野 欽市		出席
12	津駅前ストリート倶楽部 会長 青山 春樹		出席
13	行政 関係者	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 所長 時岡 利和	出席
14		三重県県土整備部 部長 若尾 将徳	出席
15		津市都市計画部 部長 宮田 雅司	出席
16		津市建設部 部長 渡邊 公隆	出席
17		津市商工観光部 部長 玉木 幸樹	出席

事務局	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 計画課
	三重県県土整備部 道路企画課
	津市建設部 事業調整室